



ブロック別指導医講習会の実施報告！

令和6年7月5日、関東甲信越静ブロック保健所長会総会、保健所連携推進会議に合わせて「社会医学系専門医協会指導医講習会（関東甲信越静ブロック）」が開催されました。

座長・記録：木村雅芳 静岡県西部保健所長

現地で意見交換会まで行うのは令和元年新潟県開催以来、実に5年ぶりとなりました。ブロック総会は、会場48名、オンライン24名の計72名、連携推進会議は会場60名、オンライン68名の計128名、指導医講習会は、会場46名、リモート28名の計74名参加でした。意見交換会も35名と盛会でした。

連携推進会議は、「大規模災害発生に備えた今後の健康危機管理対策について～能登半島地震における支援経験から受援体制を整える～」と題して、茨城県、栃木県、群馬県のDHEAT活動報告がされました。得られた知見、提案について、他の参加者の体験や提案も含めて、活発な意見交換の場となりました。

指導医講習会は、「公衆衛生医師の確保、育成・指導に役立つ情報提供」と題し、新潟県福祉保健部主任の松澤知先生にご講演頂きました。

輝く若手行政医師の視点から新潟県や事業班の取り組みをご紹介頂き、参加した指導医が明るい未来を描けることを大きな狙いとししました。

松澤先生は、新潟県出身、平成29年に近畿大学をご卒業後、佐渡総合病院で研修された後、新潟県庁に入庁されました。折しも、新型コロナウイルス感染症対策の真ん中で、大変なご苦労と同時に公衆衛生のダイナミックさをご経験されました。新潟県は新型コロナウイルス感染症都道府県別死亡率が最小であり、若くして大きな成果を上げられました。

講師

【新潟県】

松澤 知 先生

福祉保健部
主任



社会医学系専門医に関する

◆◆ お知らせ ◆◆

新しく保健所などに入った医師が、社会医学系専門医になるためには、指導医が必要です。更新期間の延長は1年単位で、上限は3年までです。2017年度に専門医・指導医を取得された方のうち、2025年3月31日の時点で反応がない場合は、都道府県、氏名、専門医／指導医の区分を社会医学系専門医協会のWebサイトから削除されます。更新書類の提出期間は、2024年10月1日～11月30日（必着）です。更新延長申請中で今年度更新予定の先生方におかれましては、お忘れなきよう、よろしくお願いいたします。

最新情報は<http://shakai-senmon-i.umin.jp/>

お問い合わせはE-mailで

jbphsm@asas-mail.jp（事務局）

講演内容は、「新潟県における公衆衛生確保の取り組み」と地域保健推進事業「公衆衛生医師の確保と育成に関する調査および実践事業班」の活動を並行的に興味深く、プレゼンテーションされました。

まず、初めにH30年に8名であった新潟県の行政医師が、令和6年には15名に増員、中でも30代以下の先生が0名から5名に増加したというめざましい結果をご紹介頂きました。新潟県の行政医師確保策では「越後の虎」を用いた大胆なデザインのホームページ、新潟県就職希望に限らず幅広く対応しているインターンシップについて詳しく教えて頂きました。

事業班の活動として、保健所長のお仕事Blog、YouTube公衆衛生医師チャンネル、個別相談会、サマーセミナー、合同WEB相談会について、わかりやすくご紹介頂きました。

人材育成では、新潟県の社会医学系専門研修プログラム「Niigata Gyousei Training (NGT)プログラム」をご紹介頂きました。松澤先生自身が、1期生でした。

事業班の育成・指導に係る取り組みとして、ウインターセミナー、公衆衛生学会での自由集会、ケーススタディー集、YouTube公衆衛生医師チャンネル、コロナ離職の実態調査についてご紹介頂きました。

行政医師5年間を振り返り、新型コロナウイルス感染症の本庁（調整本部）としてオール新潟体制を構築したこと、同時期に新潟県の臨床研修医が急増したことをリンクさせてお話しされました。

また、新潟県出身である山本五十六の「言って聞かせて、させてみせ、ほめてやらねば、人は動かじ。」「話し合い、耳を傾け、承認し、任せてやらねば、人は育たず。」

「やっている、姿を感謝で見守って、信頼せねば、人は実らず。」と結ばれました。

講演後の質疑応答では、山崎理十日町（兼上越）保健所長から、富山大学と新潟大学による北越地域医療人材養成センターの設置と、地域マインド、臨床医学的能力、社会医学的能力を重視した教育が、保健所実習の学生さんの変化として現れている様子をご紹介頂きました。

また、専門医認定に関わる立場として田中一成静岡市保健所長から、専修医研修記録の中で、単に行った事業を記載するのみでなく、事業の中で専攻医がどのような役割を担ったのか、何を学んだかを記録しておくことが大切だとのお話を頂きました。

会終了後、参加者の先生方から、とても良い講演であったとお声を頂きました。また、オンライン参加レポートでも、肯定的な評価を頂くとともに、保健所長会として、中堅につながる人材育成システムに取り組むよう期待の声を頂きました。

指導医講習会の企画をご指導頂いた横山勝教香川県中讃保健所長（公衆衛生医師の確保と育成に関する委員会委員長）、大久保久美子平塚保健所長（同委員会委員）、本日の総会を開催して下さった矢沢和人群馬県保健所長会長はじめ群馬県の先生方、当日参加して下さった皆様に感謝いたします。

指導医講習会のご報告を頂いた木村雅芳静岡県西部保健所長、講師を務めていただいた松澤知先生ありがとうございました。ZENHO通信では各ブロックの指導医講習会の様子や社会医学系専門医協会の情報をお伝えしていきます。引き続きよろしく願いいたします。

発行責任者：横山勝教（公衆衛生医師の確保と育成に関する委員会委員長）